

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	網膜疾患の抗 VEGF 硝子体内投与に対するコントラスト感度を含めた視機能評価		
1. 研究の目的と方法	近年、糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫、加齢黄斑変性症は、抗 VEGF 薬の治療が主流となっています。そして治療効果の評価では、様々な臨床研究により、OCT による中心窩網膜厚、OCT angiography による新生血管の検出などの網膜形態の評価が盛んになされています。しかし、視覚機能に関しては、視力や中心視野、網膜感度による報告が主流であり、顔の認識や夜間運転など日常生活に必要な形態覚につながるコントラスト感度の検証報告は少ないです。本研究では、コントラスト感度を中心に視覚機能及び形態を抗 VEGF 治療前後で評価することを目的とします。東京慈恵会医科大学附属病院眼科及び町田市民病院で抗 VEGF 硝子体内投与治療を行った方の検査データを東京慈恵会医科大学で一括管理して解析・検証を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2021年4月～2024年3月の間に東京慈恵会医科大学附属病院眼科及び町田市民病院で抗 VEGF 硝子体内投与治療を行った方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、検査結果（視力検査、眼圧、光干渉断層像、コントラスト感度検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 眼科学講座
		氏名	小松 功生士
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	町田市民病院 眼科 担当医師 小松 功生士		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2024 年 4 月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p><u>東京慈恵会医科大学附属病院眼科受診の方</u> 機関名：東京慈恵会医科大学附属病院眼科 研究責任者：助教 小松 功生士（こまつ こおじ） 電話番号：03-3433-1111（内線：3581） 対応時間：平日 9:00 ～ 17:00</p> <p><u>町田市民病院眼科受診の方</u> 機関名：町田市民病院眼科 研究責任者：小松 功生士（こまつ こおじ） 電話番号：042-722-2230（代表番号） 対応時間：平日 9:00 ～ 17:00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。